校長室だより

R2.1.20 第34号

学校教育アンケート、ご協力ありがとうございました(2)

うれしいご意見もいただきました

○わくわく発表会での完成度が高く驚いた。しっかりと一人一人がせりふも言え,いきいきとした姿に感動した。

○わくわく発表会で、子どもの表現力が伸びていると感じた。

○すてきなわくわく発表会で,先生方に感謝の気 持ちでいっぱいです。

○子ども二人とも楽しく通っている。多くの先生 方のおかげ。地域スポーツクラブで、上級生も下 級生も心優しい。

○親子ふれあい活動では、親子で楽しめることを 委員さんが考えてくれ、先生方の協力もあってス ムーズにでき、すてきな会だと思う。

○学校からのメールが早くて助かる。弁当のこと や校外学習の帰りの連絡などタイムリーでとても よい。

○毎回,「校長室だより」を楽しみにしている。学校全体の様子がわかり,イメージがもちやすい。 続けてほしい。

<要望・質問 その2>

Q: 九九暗記で、下がり計算をするのはなぜ?

A:より掛け算の定着を図るためです。2年生は、 そろそろ「九九検定」が始まります。

Q: 読解力が低下しているとニュースで知った。新聞活用学習(NIE) はどうですか?子どもは新聞を読むことがないので。

A:本校ではNEカリキュラムを編成して実施してはいませんが、教科や領域等の授業で必要に応じて「新聞」に親しむ活動は行っています。読解力向上は大きな課題ですので、手立ての一つとして新聞活用は効果があると思います。ただし、今回の学習指導要領改訂での英語教科化やプログラミング学習の導入、新三学期制の実施など、目新しいものも多く、それらを含めて、具体的にどのような教育課程を組んでいくかを検討中です。

その際、「ビルド&ビルド」ではなく、「ビルド& スクラップ・スリム」を意識して、行事の精選や教 科領域の横断的なカリキュラム編成という視点で 編成していきます。

Q: 部活動では、先生の負担にならないように外部講師を募集するとか、有料化するというのは難しいのでしょうか。

A: 本校では、共育ボランティア・トヨッキースクールで、さまざまな体験が行えるように募集し、 実施しています。豊橋市全体の動きの中で、今後 対策が講じられるかもしれませんが、現在のとこ ろは、これ以上の取り組みは難しい状況です。

Q: たいまつ山の初日の出を拝む会は廃止ですか。

A:この行事は地域の有志の方々によるものでした。 諸事情により廃止となりました。

Q: 夕方や土日, 長期休み中など校庭の自由開放はできるのでしょうか。ボール遊びが禁止になっている場所(公園など)が増えているので。

A:長期休業中も含め、平日は部活動がない限り可能ですが、児童クラブの活動に支障のないようにお願いします。子どもたちには、使うときには先生にあいさつをするように指導しています。

土日は,スポーツ開放登録団体が優先で使用率 も高く,ボール遊びは難しいと思います。

Q: 今後が非常に心配な学年があります。今のうちにしっかりと指導していただきたい。また、いじめ等につながるようなことが起きたときには、十分に時間をとり、子どもに考えさせ、いじめ防止になるようにしていただきたい。

A:この件に関しては、12月中旬に全教職員で会議を開き、学校の対応の在り方について検討し、共通理解のもとすすめていくことを確認しました。 裏面に「いじめにおける学校の対応について」を掲載しましたので、ご覧ください。

★来年度大きく変わる小学校教育。スムーズにスタートできるように、準備をすすめていきます。